



世界農業遺産

国東半島宇佐地域



ため池がつなぐ
クヌギ林と

国東半島・宇佐の
農林水産循環

森の恵み

しいたけの故郷

独特の風土と向き合い

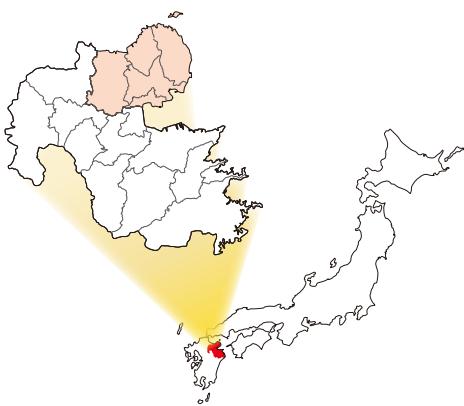
ひたすら守り続けてきた

伝統的な農林水産業の営みが

世界に認められました。

森の恵み、しいたけの故郷を
次の時代へ繋いでいくのは

今を生きる私たちです。



大分県

2013年5月、大分県国東半島宇佐地域(豊後高田市、杵築市、宇佐市、国東市、姫島村、日出町)が
世界農業遺産に認定されました。

Kunisaki Peninsula Usa Integrated Forestry, Agriculture and Fisheries System



国東半島宇佐地域世界農業遺産
Kunisaki Peninsula Usa GIAHS

クヌギ林とため池によって持続的に維持されている、日本一の原木しいたけ生産をはじめとする農林水産業システム

降水量が少なく耕作に必要な水が不足する地域に

1200以上のため池を造り、連携させた用水供給システムを確立し、

水稻や国内唯一のシチトウイ栽培に計画的に配分している。

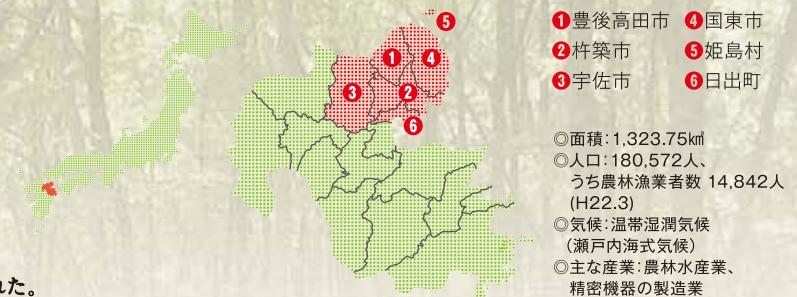
また豊富にあるクヌギ林を利用した日本一の原木シタケ栽培は

水田農業を補い、森の保水性を維持し、

ため池とともに貴重な給水源となり多様な生態系を育んでいる。

先人たちが營々と作り上げてきたこのクヌギ林とため池による

「循環型の農林水産業」の営みが世界的に価値のあるものとして認められた。



豊かな自然・産業を育むクヌギ林



明るいはだ場を活用し、高品質な乾しいたけを生産



現代に生きる中世の莊園[田染荘]



国内唯一のシチトウイ産地



世界農業遺産(GIAHS)とは？

Globally(世界的に) Important(重要な)
Agricultural(農業の) Heritage(遺産) Systems(システム)

食料の安定確保を目指す国際組織である、国際連合食糧農業機関(FAO)が2002年に開始したプロジェクトで、次世代に受け継がるべき伝統的な農業・農法とそれに関わって育まれた文化、景観、生物多様性などが一体となった世界的に重要な農業システム(林業及び水産業を含む)を認定し、その保全と持続的な活用を図るもので



世界農業遺産認定サイト／全36サイト (2016年1月現在)

- 日本 (新潟県)トキと共に共生する佐渡の里山 (石川県)能登の里山里海 (静岡県)静岡の茶草場農法 (熊本県)阿蘇の草原の維持と持続的農業 (大分県)国東半島・宇佐の農林水産循環 (岐阜県)清流長良川の鮎 (和歌山県)みなべ・田辺の梅システム (宮崎県)高千穂郷・椎葉山地域の山間地農林業複合システム
- アルゼンチン[マグリブのオアシス] ● 中国[アオハシの乾燥地農業] ● チリ[チロ工農業]など

未来への継承 ～アクションプランの実行～

農林水産業とそれらと関連した人々の
営みの次世代への継承(システムの保全)

- 住民・生産者等の地域や営みに対する自信と誇りの醸成
- 農林水産業を支える人材育成と安定生産の確立に向けた取組
- 生物多様性が育まれる地域の保全
- 農耕と結びついた伝統文化の伝承

GIAHSブランドを活用したものづくりや 交流人口の拡大等による地域の元気づくり

- 農林水産物等のブランド化
- 交流人口の拡大
- 地域づくり活動等の促進
- 国内外への情報発信

国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会

(事務局)大分県農林水産部農林水産企画課世界農業遺産推進班 〒870-8501 大分県大分市大手町3-1-1 TEL.097-506-3525